



「ももっち」も応援した牛窓町家族ジョギング大会



大勢が汗を流したおくちよう新春マラソン大会

## 新春にさわやかな汗流す

### ジョギング・マラソン大会

新春に瀬戸内のさわやかな潮風を肌を感じながら気持ちの良い汗を流そうと1月16日、牛窓中学校グラウンドを主会場に、牛窓町家族ジョギング大会が開催されました。

4人一組で4<sup>キロ</sup>をリレーするふれあいリレーには21組84人が参加。1<sup>キロ</sup>、2<sup>キロ</sup>のジョギングでも約50人が快走。応援に駆けつけてくれた「ももっち」と一緒に国体PRクイズなどをし、なお一層大会を盛り上げました。

第29回おくちよう新春マ

ラソン大会も同日、市邑久スポーツ公園野球場を発着点に開催され、延べ約千人が気持ちの良い汗を流しました。

競技は、スピードを競う2<sup>キロ</sup>・3<sup>キロ</sup>・5<sup>キロ</sup>、タイム宣言の3<sup>キロ</sup>・5<sup>キロ</sup>、フアミリーコースの2<sup>キロ</sup>で、参加者の皆さんは家族らの声援を受け元気に駆け抜けました。フアミリーコースでは、ユニークなコスチューム姿の皆さんがパフォーマンスを繰り広げ、大会を大いに盛り上げていました。

## 貴重な体験を

### 長船中チャレンジワーク

職場での体験を通じ、勤労の尊さを学び地域社会へ貢献しようと、1月18〜20日の3日間、長船中学校の2年生165人が市内64事業所で職場体験をしました。

生徒たちは事業所で、それぞれ与えられた仕事をこなし、仕事の大変さや地域社会との関わりなど貴重な体験をしました。

長船スポーツ公園でグラウンド整備をした岡大輔君（長船中）Ⅱ写真左Ⅱは、「外での作業はきつかったけど、木を切ったりした事は楽しかったです。3日間の貴重な体験をこれから役立てていきたいらいたいと思います」と話してくれました。



グラウンド整備に精を出す長船中学校の生徒

## 競歩で団体優勝

### 邑久高校陸上競技部



団体優勝に輝いた邑久高校陸上競技部の松尾君(左)と小林君が盾を手に

第16回日本選手権ジュニア選抜競歩大会が1月30日、神戸六甲アイランド周回コースで開催され、邑久高校陸上競技部がジュニア男子10<sup>キロ</sup>の部で団体優勝に輝きました。

団体は二人以上の出場が原則で、その内上位二人の成績で競われます。大会には、大学生を含む10歳代の約110人が出場。邑久高校の松尾秀太郎君（18歳・邑久町尾張）が5位、小林達也君（17歳・邑久町豊原）が14位、総合点で団体優勝。二人は2月1日、原田直樹校長、豊田倫寛監督と市役所を訪れ、立岡脩二市長に報告。腰はく離骨折というコンディションで大会に出場した松尾君は、「高校の最後チームとして優勝できたことはうれしい」と、小林君は「練習の成果を先輩とともに証明できうれしい」と喜びを語りました。

## 本番に役立つぞー！

### おはなしボランティア講座に24人



手遊びも大切な手法の一つ。みんなで実践中

おはなしボランティア講座が2月10日、長船町公民館で開催されました。4回講座の3回目のこの日は24人が参加し、こどもと本「おかやま」の相賀美幸さんと伊丹弥生さんを講師に迎え、「おはなし会の1年間」についての講義を受けました。

講師の二人は、本の選書と

読み方、小道具の魅力的な使い方、ボランティアの心構えなどについて語り、「ボランティアの心構えに必要なのは、コミュニケーションをとる力。おはなし会の場の目的をはっきりつかむこと」とアドバイス。受講生の皆さんは熱心にメモをとっていました。

## すべて手作りでおもてなし

### おつくんくらぶがケーキバイキング

邑久保健センターで2月4日、子育て支援ボランティア団体『おつくんくらぶ』（小林良江会長・会員22人）がケーキバイキングを開催しました。

「子育て中は行きたくないけど行けない。だったら自分たちで」とケーキバイキングを企画。21種類ものピザやケーキ（すべて手作り）がテーブルにずらりと並び

ました。市内の約70人の親子が集い、おいしいケーキを食べて楽しいひとときを過ごしました。

初めて参加した中川由実子さん（32歳・邑久町向山）は、「全部手作りでびっくりしました。いろいろな種類があったすごくおいしいし、参加できてうれしいです」とすてきな時間を満喫していました。



親子で楽しむケーキバイキング 心もお腹も大満足

## 伝統芸能を楽しむ

### 淡路人形浄瑠璃

牛窓町総合福祉センターで2月13日、淡路人形浄瑠璃公演がありました。淡路人形浄瑠璃は、日本人の「わび」「さび」を伝える伝統芸能として国の『重要無形民俗文化財』に指定されています。

約220人の観覧者は、義太夫の情感あふれる語り、重々しく響く三味線演奏と喜怒哀楽あふれる「えびす舞」などの人形芝居を楽し



淡路人形浄瑠璃を大勢の皆さんが楽しみました

みました。

芝居の合間に人形教室も行われ、会場の3人が人形遣いに挑戦。3人のぎこちない操作とその面白い人形の動きに、会場は笑いの渦がおこりました。

参加者の一人は、「人形浄瑠璃を初めて見ましたが、その生きているような華麗な動きに感動しました」と喜びを話してくれました。